

Creators of SOLAN



自分たちでクラスをつくる

第1回目のMercury会議で、どんな学級を目指すのかについて話し合いをしました。「今でもいい学級だけど、もっといい学級にしたい!」「世界一の学級!」「いや、宇宙一だよ!」と子どもたちはとても意欲的でした。1年生とはいえ、色々と彼らも考えているんだと改めて思いました。結果、「世界でNo.1のMercuryクラス」という目標に決まりました。この目標を達成するために、

「1、毎日当番を決めて、morning meeting やMy Reflectionを子どもたちが担当する」、「2、係を決めて、学級をよりよくする仕事をする」です。昨日の日直は、ゆうりさんが担当しました。そして、給食の時間の配膳、片付け、挨拶をしたり、掃除の担当を決めて自分たちでしたりしました。また、Morning Meetingでのスピーチのやり方について、ゆうたさんから提案がありました。教師からは、「説明はすごく上手だから、最後に自分の思ったことを話したらもっといいね」と助言をしました。子どもたち頑張ってます!



「いただきまーす!」



お掃除、ガンバ!

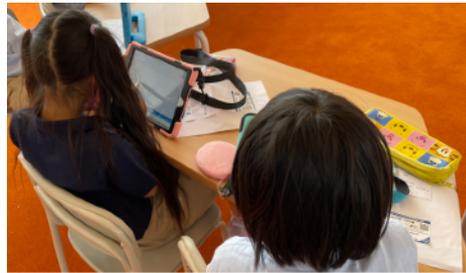
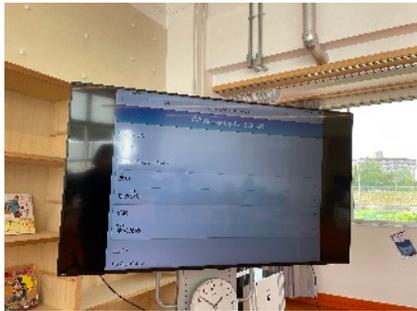


スピーチ、こんな感じ?

美しい文字を書くには・・・



今日から、iPadのアプリを使ってひらがな文字の確実な習得を目指します。今までの子どもたちの文字をみると、字が雑に書かれています。きちんとなぞりができていないままに、文字を書いているので自分流の文字習得になっていました。そこで、基礎基本は徹底してやるべきと考え、やり方を変更。【iPadでなぞる→紙に書かれている文字をなぞる→自分で書く】の段階で、形の整ったひらがなが書けるようにしたいと考えます。もちろん、これだけでは文字習得に対する意欲が低下するので、言葉集めなどの他の方法も組み合わせます。早く、文が書けるようにしたいと思っています。それによって、コミュニケーションの手段が増え、子どもたちの表現力向上を



目指すことができます。また、今後漢字が入ってきます。子どもの中には漢字に大変興味・関心を持っている子どももいます。そこで、Microstep for SOLANも導入。子どもたちにやり方を指導しました。ただし、現段階では大変難しく感じると思います。しかし、子どもたちは普段から多くの文字に触れています。Microstep for SOLANは見流すだけで文字を習得できるという考え方に基づいて設計されたアプリです。最初は「わからない」が続くと思いますが、そのうち「これ、こう読むんだっ！」と分かった、できた！という時がきます。そこまでの意欲づけに工夫が必要であると思っています。頭一つ分背伸びした自分を実感できたら、子どもは自分で動き出すはずで、そのイメージを持たせる役割をしっかりと担い、子どもの力をぐーんと伸ばしていきたいです。

目指すことができます。また、今後漢字が入ってきます。子どもの中には漢字に大変興味・関心を持っている子どももいます。そこで、Microstep for SOLANも導入。子どもたちにやり方を指導しました。ただし、現段階では大変難しく感じると思います。しかし、子どもたちは普段から多くの文字に触れています。Microstep for SOLANは見流すだけで文字を習得できるという考え方に基づいて設計されたアプリです。最初は「わからない」が続くと思いますが、そのうち「これ、こう読むんだっ！」と分かった、できた！という時がきます。そこまでの意欲づけに工夫が必要であると思っています。頭一つ分背伸びした自分を実感できたら、子どもは自分で動き出すはずで、そのイメージを持たせる役割をしっかりと担い、子どもの力をぐーんと伸ばしていきたいです。



英語で生活科



生き物みつけ



運動場に隠れている数を探す